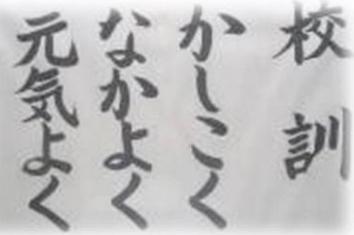




玉名市立 横島小学校

学級数12学級 児童数255名



玉名市小中一貫教育 … 玉名市は全小中学校で小中一貫教育を進めています。

◇◇有明中学校区教育目標

ふるさとを愛し、未来の創り手となる児童生徒の育成

◇◇有明中学校区でめざす子供像

【あ】明るく、思いやりのある児童生徒

【り】理想をもち、学び合う児童生徒

【あ】あきらめず、努力する児童生徒

【け】健康な体、心を育む児童生徒

1 学校教育目標の具現化につながる「育てたい力」の明確化

本校では、学校教育目標につながる3つの「育てたい力」を明確にし、職員が協働しながら、カリキュラムマネジメントを推進し、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指しています。特に、達成感や自己実現、貢献や支援、感謝を伝える、出会いや交流のある教育活動を重視しています。

共感力

- ・自他の良さ等に気づく工夫
- ・人権集会・交流活動等
の工夫
- ・いじめの未然防止

考動力

- ・主体的・対話的で深い学び
- ・行事や委員会活動の工夫
- ・自己指導能力育成
- ・安全・健康な生活態度
の育成

やりぬく力

- ・基本的知識・技能の習得
- ・持久力・忍耐力
- ・基本的生活習慣の育成
- ・やればできるという自信や
自己有用感の育成

(1) 校内研修を中核とした授業改善（共感力・考動力・やり抜く力）

子供たちに確かな学力をつけるために「算数科における『他者と協働しながら能動的に学び続ける』子供の育成」という研究主題のもと研究を進めています。単元全体を見通した授業構想と子供の側に立った発問を工夫し、能動的に学び続ける児童の育成を目指しています。

(2) UDの6つの視点と横島タイムによる学校・学級づくり（共感力・やり抜く力）

UDの6つの視点を取り入れた学校・学級づくりを推進しています。授業では、全員が分かる授業を心がけ、児童の自己肯定感が高まるような働きかけを行っています。また、毎週火曜日、横島タイムとして「質問じゃんけん」や「二者択一」などのゲームをしています。どのゲームでも、友だちの話を笑顔で聞いたり、うなずいて聞いたりすることを決まりにしています。活動の最後には、振り返りを行い、次の活動への意欲を高めたり、授業や他の活動につなげる意欲をもたせたりしています。

(3) 行事を中心とした教科等横断的な取組（共感力・考動力・やり抜く力）

行事や活動では、全職員で目標を確認し、どのような力を子供たちに付けるのか共通理解を図り実践を行っています。また、活動後は、この3つの視点で振り返りを行い、職員の成就感・達成感につなげています。



今年度の運動会は「成長した姿を見せることで、保護者や地域の人に笑顔と元気を届ける」というミッションのもと、10月25日に行う予定です。午前半日となりますが、6年生がリーダーとなり主体的に練習や活動に取り組みます。そして3つの「育てたい力」である「共感力」「考動力」「やりぬく力」を育てていきます。

(4) 総合的な学習の時間を中心とした教科等横断的な取組「いちごマラソンプロジェクト」

例年、2月に行われるいちごマラソンでボランティアとして協力（共感力・考動力・やり抜く力）をしてきましたが、昨年度は少し発展させ、いちごマラソンプロジェクトに取り組みました。9月に運営委員会と5・6年生が中心となり、このプロジェクトを立ち上げました。日頃お世話になっている地域の皆さんのために、自分たちでできることはないか考え行動していこうとするものです。次のことを取り組みました。

- 大会ボランティアへの協力・地域のゴミ拾いをする。
- ポスターや動画を作成し、参加を呼びかける。
- 横島小の児童に呼びかけて参加を増やす。
- 横島の良いところを紹介する（お礼の手紙を書く）。

右は、児童が書いたお礼の手紙です。当日は全ての参加者に配付する予定でしたが、残念ながら中止となってしまいました。しかし、支所の皆さんのおかげで景品と一緒に配付することができました。今年度も取り組みます。



2 地域とともにある学校を目指して（学校運営協議会）

本校は、平成17年度コミュニティ・スクールの指定を受け、学校教育活動を推進しています。コミュニティ・スクールは保護者や地域が学校の様々な課題解決に参画し、それぞれの立場で主体的に子どもたちの成長を支えていくための仕組みです。本校では、地域の教育力を学校教育に生かしたり、地域の行事にボランティアとして参加したりして、地域に貢献しています。今年度からは、地域学校協働活動推進委員として、横島学童クラブの田中順子先生に引き受けていただき、更に充実するよう連携をとりながら進めているところです。学校運営協議会の組織には、3つのコミュニティがあります。

(1) スクールコミュニティ

～子供の学びの支援や、読書活動を推進します～

毎年、高学年の家庭科の裁縫やミシンの実技指導で地域の方の力をお借りしています。4年生のそろばんの授業にも来ていただいています。教師一人では指導が難しいのでとても助かっています。



(2) ふるさとコミュニティ

～地域の産業や文化、伝承等の体験活動を推進します～

横島は干拓で生まれた町です。干拓に関する遺跡はたくさんあります。干拓の歴史を学ぶことは、郷土を愛することにつながります。6年生は、毎年「横島文化財保存顕彰会」の方をお願いして干拓の歴史を学んでいます。先人の努力に感銘するとともに文化遺跡を大切にしようという気持ちを新たにしています。

町内には「いちご」や「トマト」など施設園芸のハウスが立ち並んでいます。5年生は、学校田で餅米を栽培し、11月頃に刈り取り、12月に餅つきを行っています。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で餅つきは行えませんが、代わりに収益金を使って、地域のお世話になった方々に感謝の気持ちを伝える予定です。このような活動を通して、児童はふるさとの良さを体感しています。

(3) 地域コミュニティ

～主として地域で子供を見守る活動をします～

本校区は、国道も通り人や物資の往来が盛んな地域です。そのような地域で子供たちを見守るために、「こども110番の家」や「スクールガードボランティア」に多数の地域の方が登録をいただいています。またPTAによる朝の登校指導や下校指導の体制もしっかりしています。地域・保護者の皆さんのおかげで、子供たちの安全・安心が守られています。

